

# 第40回水の週間実施報告書



平成28年11月

水の週間実行委員会

# 第40回水の週間中央行事は、後援機関及び協賛団体の 皆様のご支援・ご協力により開催されました。

## 主催機関

水循環政策本部	国土交通省	東京都
水の週間実行委員会		

## 後援機関

文部科学省	厚生労働省	農林水産省
経済産業省	環境省	独立行政法人 水資源機構
公益財団法人 日本科学技術振興財団	日本放送協会	一般社団法人 日本新聞協会

## 協賛団体（五十音順）

公益財団法人 河川財団	一般財団法人 河川情報センター	一般社団法人 建設広報協会
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会	一般財団法人 国土技術研究センター	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター
一般財団法人 砂防フロンティア整備推進機構	一般財団法人 水源地環境センター	石油連盟
一般社団法人 セメント協会	一般社団法人 全国建設業協会	公益社団法人 全国建築物飲料水管理協会
一般財団法人 ダム技術センター	一般社団法人 ダム・堰施設技術協会	電気事業連合会
一般社団法人 日本埋立浚渫協会	一般社団法人 日本ガス協会	一般社団法人 日本橋梁建設協会
一般社団法人 日本経済団体連合会	一般社団法人 日本建設機械施工協会	一般社団法人 日本建設業連合会
一般財団法人 日本建設情報総合センター	一般社団法人 日本水道工業団体連合会	日本製紙連合会
一般社団法人 日本電機工業会	一般社団法人 日本ホテル協会	一般社団法人 日本林業土木連合協会
一般社団法人 日本レストラン工業会	ビール酒造組合	公益財団法人 リバーフロント研究所

## 水の週間実行委員会委員団体

全国水土里ネット	公益社団法人 日本水道協会	公益財団法人 利根川・荒川水源地域対策基金
一般財団法人 造水促進センター	全国簡易水道協議会	一般社団法人 日本治山治水協会
公益社団法人 日本下水道協会	公益社団法人 土木学会	公益社団法人 日本河川協会
一般財団法人 日本ダム協会	公益社団法人 農業農村工学会	一般社団法人 日本工業用水協会
独立行政法人 水資源機構	特定非営利活動法人 日本水フォーラム	

(目 次)

第 40 回「水の週間」の開催にあたり	3
第 40 回「水の週間」水を考えるつどい皇太子殿下お言葉	4
第 40 回「水の週間」行事の概要	5
水の週間中央行事「水を考えるつどい」	6
水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	10
平成 28 年度水資源功績者表彰	17
第 38 回全日本中学生水の作文コンクール	18
一日事務所長体験	21
第 31 回水とのふれあいフォトコンテスト	23
上下流交流活動	27
国や地方公共団体等での実施状況	31
第 40 回水の週間新聞等報道状況	39
「水の週間」実施経過	41
水の週間実行委員会について	44

※表紙の写真は、第 31 回水とのふれあいフォトコンテストグランプリ「夫婦船」：吉田晃夫氏  
※表紙のロゴマークは、平成 27 年に選定された「健全な水循環」に関するロゴマーク

「水の日」及び「水の週間」について

昭和 52 年 5 月 31 日

閣 議 了 解

水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めるため、「水の日」を設ける。

「水の日」は毎年 8 月 1 日とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、ポスターの掲示、講演会の開催等の行事を全国的に実施するものとする。

上記の行事は、地方公共団体その他関係団体の緊密な協力を得て行うものとする。

「水の日」及び「水の週間」制定の理由

わが国の水需要は、生活水準の向上、経済の進展等に伴って近年著しく増大してきたが、一方水資源の開発は次第に困難になっており、渇水時には水不足が生ずることが予想される状況となっている。

このような状況にかんがみ、毎年 8 月 1 日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性に対する関心を高め、理解を深めるための諸行事を行うことによってわが国の水問題の解決を図り、もって国民経済の成長と国民生活の向上に寄与することとしたい。

なお、諸行事を行うためには、年間を通じて水の使用量が多く、水について関心が高まっている 8 月の月上旬が適当であるので、その初日である 8 月 1 日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」とするものである。

水循環基本法（平成 26 年法律第 16 号）

第十条 国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めるようにするため、水の日を設ける。

2 水の日は、八月一日とする。

3 国及び地方公共団体は、水の日趣旨にふさわしい事業を実施するように努めなければならない。

平成 26 年 7 月 1 日に水循環基本法が施行され、8 月 1 日は、国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解や関心を深める日として、法律で定められた「水の日」となりました。

## 第40回「水の週間」の開催にあたり



水の週間実行委員会 虫明功臣 会長

第40回目の「水の日」及び「水の週間」を迎え、本日ここに、皇太子同妃両殿下のご臨席のもと、「水を考えるつどい」を開催するにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

まず初めに、本年度の水の日・水の週間行事の開催にあたりまして、ここにご列席の皆様のご理解とご協力を賜りましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昭和52年に「水の日」「水の週間」の取り組みが始まってから、約40年近くになります。その間に様々な深刻な水問題を体験してきましたが、ハード・ソフトの両面からなる様々な対策を講じた結果、現在では相当程度の改善を進めることができました。

しかしながら、ここ数年を振り返りましても毎年のように水災害が生じている状況にあります。例えば、一昨年8月の広島市の短時間集中豪雨による土砂災害、昨年9月の関東・東北豪雨による鬼怒川破堤氾濫などの被害は記憶に新しいところです。そして、いっぽうで、本年は首都圏の水需要を支える利根川水系において近年まれに見る渇水に見舞われ、6月より取水制限が継続しているところです。正に、気候変動評価報告に関連して気象庁が指摘した日本周辺への影響、すなわち「地球温暖化の進行に伴って日本周辺では、豪雨の強度と頻度が増大すると同時に渇水の頻度も増える」が、現実のものになっていると強く感じられます。

このような状況を踏まえ、本年の「水の日」「水の週間」においては、健全な水循環の重要性、水資源の有限性、水資源開発・管理の重要性、水の恵みと脅威について、国民の皆様幅広く理解と関心を深めていただけるよう、水循環政策本部、関係府省や都道府県等と連携し、全国で様々な取り組みを積極的に展開して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

最後に、これから表彰されます、水資源行政の推進に関して顕著な功績を挙げられた「水資源功労者」の方々、並びに「全日本中学生水の作文コンクール」において優秀な成績を収められた方々に対して心からお祝い申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。

平成28年8月1日

水の週間実行委員会会長 虫明 功臣

## 第40回「水の週間」水を考えるつどい 皇太子殿下のお言葉



第40回「水の週間」水を考えるつどいが、多くの関係者の出席を得て開催されることを誠に喜ばしく思います。

水はあらゆる生命の根源となる基本的資源であり、我が国は、水資源と水に関わる施設を守り育てることにより、水がもたらす恵みを受けてきました。

この4月に地震に襲われた熊本は、もともと地下水源に恵まれた水が豊かな土地柄ですが、少なくとも約43万戸が断水しました。ふだん当然のように利用している水が、災害により突然手に入らなくなると、日常生活に深刻な影響を及ぼすことを、改めて認識することとなりました。

また、今年には九州が地震に加えて豪雨による災害にも見舞われる一方で、関東では冬の雪や春以降の雨が少なく水不足に悩まされています。地球温暖化による気候変動の影響とも指摘されていますが、降水量の偏りが極端になってきており、地域によっては、将来の渇水リスクが高まることが懸念されています。

水は限りある貴重な資源です。水資源を安定的に確保し、その有効活用を図ることは、国民生活を守り発展させるための根幹となるものであり、今後とも、水資源対策が一層充実されることが望まれます。

我が国の発展を支えてきた「水の恵み」を守り続けるためには、多くの人たちの取組が必要です。本日、水資源功績者として表彰される方々は、水資源の利用と保全に当たって長年にわたり最前線で活躍され、その活動は誠に意義深いものであり、そのご尽力に心より敬意を表します。また、作文コンクールに入賞された方々に祝意を表したいと思います。

水を守り育てる取組は不断の努力を必要としますが、「水の週間」をきっかけとして、水の大切さに対する国民の関心と理解がより一層深まることを願い、私の挨拶といたします。

## 第40回「水の週間」行事の概要

行 事	実 施 内 容	主 催 者 等
水の週間中央行事	<p>1. 水を考えるつどい 日時:平成28年8月1日(月) 14:00～17:20 場所:科学技術館サイエンスホール 内容: ①主催者挨拶 ②皇太子殿下お言葉 ③水資源功績者表彰式 ④第38回全日本中学生水の作文コンクール表彰式 ⑤上記作文コンクール最優秀賞受賞者による作文朗読 ⑥基調講演(竹村公太郎、岸由二) ⑦パネルディスカッション(竹村公太郎、岸由二、岡田高大、杉尾哲、後藤由美)</p> <p>2. 水のワークショップ・展示会 日時:平成28年8月16日(火)～18日(木) 10:00～17:00 場所:東京国際フォーラム(ガラス棟G701会議室) 内容:「水のハッピーデー ～水について学ぼう!～」をテーマに、小学生の親子を対象として、水にまつわる様々なワークショップやパネル展示を実施。</p>	<p>主催:水循環政策本部 国土交通省 東京都 実行委員会(注)</p> <p>後援:文部科学省、厚生労働省 農林水産省、経済産業省 環境省、(独)水資源機構 (公財)日本科学技術振興財団、日本放送協会、 (一社)日本新聞協会</p>
平成28年度水資源功績者表彰	水資源行政の推進に関し、特に顕著な功績のあった個人並びに団体に対して、国土交通大臣表彰を授与。	主催:国土交通省
第38回全日本中学生水の作文コンクール	「水について考える」をテーマとして、中学生を対象に水の作文コンクールを実施。 都道府県の各地方審査等を経た作品を中央審査会で審査し、優秀作品に対して最優秀賞(内閣総理大臣賞)等を授与。	<p>主催:水循環政策本部、国土交通省、都道府県</p> <p>後援:文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、全日本中学校長会、(独)水資源機構、実行委員会</p>
一日事務所長体験	全日本中学生水の作文コンクール優秀賞以上の受賞者の内、希望する者について在住地近隣の関係機関の事務所等において一日事務所長体験を実施。	
第31回水とのふれあいフォトコンテスト	健全な水循環の重要性や水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発の重要性について広く理解と関心を深めることに資する写真作品(例:「生命を支え、育む水」、「ダムや水路、水道など水をつくり、供給するもの」、「くらしの中の水」、「歴史とともにある水の風景」)を募集し、フォトコンテストを実施。優秀作品に対して、国土交通大臣賞等を授与。 また、今年度より若年層をはじめ幅広く作品募集を行うため、SNS部門を新たに設置。	<p>主催:実行委員会</p> <p>後援:国土交通省、東京都 (独)水資源機構</p>
上下流交流活動	水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性についての啓発や、ダム水源地域の振興に資する上下流住民の連携に関する活動を行う団体等に対し、助成を実施。	主催:上下流住民の交流を促進する活動を行う市民団体、その他の団体
施設見学会	ダムや浄水場などの水資源開発施設の見学会を各都道府県並びに(独)水資源機構等において実施。	主催:都道府県、(独)水資源機構ほか
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国各地で①講演会、②展示会など多彩な催しを実施</li> <li>・ポスターの配布・掲示</li> </ul>	

(注)「実行委員会」とは、「水の日」・「水の週間」の趣旨に賛同し、政府による「水の週間」の各種の啓発活動と一体となった諸行事を積極的に実施することを目的として、水に関係の深い団体により設立された「水の週間実行委員会」を指すものです。

## 水の週間中央行事「水を考えるつどい」



平成 28 年 8 月 1 日（月）、皇太子同妃両殿下並びに愛子内親王のご臨席を賜り、科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）において、「水を考えるつどい」（主催：水循環政策本部、国土交通省、東京都、水の週間実行委員会）が開催され、およそ 300 名の方々にご来場いただきました。

主催者挨拶後、ご臨席の皇太子殿下よりお言葉を賜りました。

その後、平成 28 年度水資源功績者の表彰式、「第 38 回全日本中学生水の作文コンクール」の表彰式、最優秀賞（内閣総理大臣賞）に選ばれた前田野乃葉さんによる受賞作品の朗読披露が行われ、水の大切さと水を届けてくれる人たちへの感謝について語られました。

休憩を挟んで、特定非営利活動法人日本水フォーラム代表理事の竹村公太郎氏及び慶應義塾大学名誉教授の岸由二氏による基調講演と、その後、両氏に大淀川流域ネットワーク代表理事の杉尾哲氏、福井県大野市長の岡田高大氏、日本コカ・コーラ株式会社副社長の後藤由美氏を加え行われたパネルディスカッションを通じて健全な水循環の重要性を PR し、盛況のうちに終了しました。

### ◆主催者挨拶



山本順三国土交通副大臣



邊見隆士東京都市整備局長



虫明功臣水の週間実行委員会会長



◆ご臨席の皇太子同妃両殿下並びに愛子内親王



◆第38回全日本中学生水の作文コンクール最優秀作文披露



最優秀賞 前田 野乃葉さん  
(富山県高岡市立五位中学校3年)

◆第38回全国中学生水の作文コンクール 受賞者集合写真



◆平成28年度水資源功績者 受賞者集合写真



◆基調講演



竹村公太郎氏  
「近代化における流域社会の崩壊そして再生」



岸由二氏  
「流域思考で地球を暮らしなおす」

◆パネルディスカッション



左より、杉尾哲氏、岡田高大氏、後藤由美氏



◆入賞作品等の展示



左上：平成 28 年度水資源功績者  
右上：第 31 回水とのふれあいフォトコンテスト  
左下：第 38 回全日本中学生水の作文コンクール

## 水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」

平成28年8月16日（火）から18日（木）までの3日間、東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内）が開催する「丸の内キッズジャンボリー2016」に参加し、この中で「水のワークショップ・展示会」を開催しました。

「水のハッピーデー ～水について学ぼう！～」をテーマに、小学生の親子を対象として、今年も多くの組織、団体により、水にまつわるワークショップ形式の催し並びにパネル展示及びブース出展が行われ、子供たちに水の大切さをより深く知っていただく機会となりました。なお、開催期間中には、1,200名を超える方々にご来場いただきました。

〈丸の内キッズジャンボリーとは〉

2007年に東京国際フォーラムの開館10周年記念事業としてスタート。子供たちへの未来への夢を育む参加・体験型イベントは、丸の内の夏の風物詩として定着。参加した企業、団体、行政機関、NPO法人などは116にのぼる。2016年は延べ約11万2千人が参加。

### ◆展示会テーマ 「水のハッピーデー ～水について学ぼう！～」

#### 【ワークショップ】

「空の教室」～雲と雨の不思議～

【特定非営利活動法人 気象キャスターネットワーク】

「東京の水道を学ぼう！」

【東京都水道局】

「田んぼの水の恵み」

【公益社団法人 農業農村工学会／全国水土里ネット】

「森林の働きとおいしい水」

【一般社団法人 日本治山治水協会】

「下水道ってなんだろう？ ～みんなでいっしょにかんがえよう～」

【東京都下水道局】

#### 【展示等出展団体】

- ・東京都水道局
- ・国土交通省水管理・国土保全局下水道部／東京都下水道局／GKP（下水道広報プラットフォーム）
- ・一般社団法人 ダム工学会／ダム工事総括管理技術者会
- ・公益社団法人 農業農村工学会／全国水土里ネット
- ・一般社団法人 日本治山治水協会
- ・国土交通省 関東地方整備局
- ・巧水（たくみ）スタイル推進チーム
- ・特定非営利活動法人 日本水フォーラム
- ・独立行政法人 水資源機構

## 「ワークショップ」



### 【特定非営利活動法人

気象キャスターネットワーク】

「空の教室」～雨と雲の不思議

テレビで活躍中の気象キャスターが、空に浮かんでいる雲や、その雲から落ちてくる雨の仕組みをクイズや実験も交えて、親子で楽しく学習。



### 【東京都水道局】

東京の水道を学ぼう！

東京都の管理する様々な水道施設を、映像を通じて見学。安全でおいしい水道水ができるまでの取組などを実験も交えて学習。



### 【一般社団法人 日本治山治水協会】

森林の働きとおいしい水

森林に降った雨はどこに流れていくのか、森林が育んだ水はなぜおいしいのかなどについて学習。また、3種類の森林の水（ミネラルウォーター）の試飲を行い、味の違いを体験。



【公益社団法人 農業農村工学会／全国  
水土里ネット】

田んぼの水の恵み

※運営

東京大学水利環境工学研究室

東京農工大学水利環境保全学研究室

田んぼに水をためることによりもたらされる水の恵みや、田んぼで暮らす生き物について説明し、農業用水の大切さについて学習。



【東京都下水道局】

下水道ってなんだろう？ ～みんなで  
いっしょにかんがえよう～

「トイレットペーパー実験」、「沈でん  
実験」、「雨水ます実験」の3つの実験  
を通じて下水道の役割などについて学  
習。

## 「展 示」



### 【東京都水道局】

水道水の安全性及び安全確保の取組、また、くみ置き・節水など非常時に備えた対応について、パネルやオゾン処理の実験装置等を用いて紹介。



### 【国土交通省水管理・国土保全局下水道部 ／東京都下水道局／GKP（下水道広報プラットフォーム）】

下水道のしくみや役割、微生物などを紹介したパネル展示を実施。また、下水をきれいにするために重要な役割を持つ微生物を顕微鏡で観察。





【一般社団法人 ダム工学会／ダム工事  
総括管理技術者会】

「本物・手作り・参加型」を基本に水力発電模型の実演やダムクイズなどを通して、来場者の疑問にダム博士が答えると共に、ダムへの正しい理解や知識についての啓発活動を実施。



【公益社団法人 農業農村工学会／全国  
水土里ネット】

いのちを育む水の恵みや、農業を通じて育まれる文化や農村環境についてパネルで展示。また、水辺の生き物の展示やタブレット端末を活用した学習ゲームを実施。





**【一般社団法人 日本治山治水協会】**

森林が育む水について理解を深めてもらうため、森林の働き等をパネルで紹介。また、全国各地の森林（もり）の水（ペットボトル）の展示や各地の水を飲み比べる「効き水」を実施。



**【国土交通省関東地方整備局】**

国土交通省関東地方整備局が管理している河川やダムにおける最近の取り組みについて紹介。



**【巧水(たくみ)スタイル推進チーム】**

「巧水（たくみ）スタイル」とは、賢く水を使う社会ということ。普通に生活をする中でこんなにも簡単に水を賢く使うことができるのだということをパネルで紹介。



【特定非営利活動法人

日本水フォーラム】

「夏の打ち水生活はじめよう」を合い言葉に展開する“打ち水大作戦 2016”をPRするパネル展示を実施。



【独立行政法人水資源機構】

水循環とダムの役割、生活の中の水などについてパネル展示を実施した他、ゴム鉄砲を使った遊びながら学ぶゲームを実施。



## 平成 28 年度水資源功績者表彰

水資源行政の推進に当たって、水源地域の振興、水環境の保全、水源涵養、水資源の有効活用等に永年にわたって尽力されたことなど、特に顕著な功績のあった 9 団体が、水資源功績者として表彰されました。表彰式は平成 28 年 8 月 1 日（月）に科学技術館サイエンスホールにて開催された「水を考えるつどい」にて実施され、山本順三国土交通副大臣から賞状が授与されました。

受賞者	功績概要
岩手町立水堀小学校リバーキッズクラブ (岩手県)	平成 12 年から、北上川源泉「ゆはずの泉」等での清掃活動、及び北上川流域における環境学習を実施している。
化女沼2000本桜の会 (宮城県)	ダム湖一帯が県内有数の桜の名所になるようにと植樹活動を行うとともに、ダム周辺の清掃活動を長年にわたり実施し、水源地の環境美化及び保全に大きく貢献されている。
特定非営利活動法人道志水源林ボランティアの会 (神奈川県)	横浜市の水源地である山梨県道志村の水源かん養林を整備し、機能向上を図り、良質な原水供給に大きく貢献している。
常願寺川沿岸用水土地改良区連合 (富山県)	用水の安定供給と防災のための維持管理、地域機能等についての普及啓発活動の実施、小水力発電事業の取り組み。
西濃地区地下水利用対策協議会 (岐阜県)	西濃地区（大垣市、海津市、垂井町、神戸町、輪之内町、養老町、揖斐川町、大野町、池田町）における水源の保全及び地下水の適正かつ合理的な利用の推進。
堀川1000人調査隊 2010実行委員会 (愛知県)	堀川浄化を願う市民が行政と協働し、長年、水質調査や堀川を愛する人の輪を広げる活動で実績を上げている。
入鹿用水土地改良区 (愛知県)	江戸時代初期に築造された入鹿池及び農業用施設の適正な管理を、改良区設立から 64 年間行うと共に、各事業を推進し、農業用水の安定供給及び下流地域の防災、水資源の有効利用に貢献している。
斐伊川流域林業活性化センター (島根県)	斐伊川流域上下流自治体連携により 15 年間で 380ha の水源林を整備。住民交流会を開催し意識醸成。
サントリービール株式会社 九州熊本工場 (熊本県)	水源涵養を目的とした森林整備事業及び水田湛水事業への継続的取り組みと普及啓発活動。

※ 受賞者集合写真については P8 をご覧ください。

## 第 38 回全日本中学生水の作文コンクール

全国の中学生及び海外日本人学校在学の日本人中学生を対象に、「水について考える」をテーマとする「第 38 回全日本中学生水の作文コンクール」を開催し、本年は 314 校より総数 15,246 編の応募がありました。各都道府県の地方審査、中央審査会の審査等により、最優秀賞 1 編、優秀賞 9 編及び入選 26 編（P20 参照）が選ばれました。表彰式は平成 28 年 8 月 1 日（月）に科学技術館サイエンスホールにて開催された「水を考えるつどい」にて実施され、最優秀賞受賞者に山本順三国土交通副大臣から賞状が授与されました。

### (1) 主催等

主 催：水循環政策本部、国土交通省、都道府県

後 援：文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、水の週間実行委員会、独立行政法人水資源機構、全日本中学校長会

### (2) 募集要領

①テ ー マ：「水について考える」（題名は自由）

②原 稿：400 字詰原稿用紙 4 枚以内

### (3) 中央審査会審査委員 ※ 50 音順、敬称略 審査当時

工藤 啓 （独立行政法人水資源機構理事）

塩屋 俊一 （農林水産省農村振興局整備部水資源課長：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）

須磨 佳津江（キャスター）

玉野井 博史（公益社団法人 日本水道協会調査部長）

津村 晃 （経済産業省経済産業政策局地域経済産業グループ産業施設課長：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）

長崎 宏子 （スポーツコンサルタント）

橋本 剛 （全日本中学校長会編集部部長）

二村 英介 （環境省水・大気環境局水環境課長：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）

宮崎 正信 （厚生労働省健康局水道課長：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）

山本 景一 （国土交通省大臣官房審議官：内閣官房水循環政策本部事務局審議官）

※ 本作文コンクールについては、政府全体の取組とするため、一昨年度より最優秀賞に内閣総理大臣賞を、優秀賞に厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、環境大臣賞を、昨年度より経済産業大臣賞を新たに創設しました。

※ 受賞者集合写真については P7 をご覧ください。

## 内閣総理大臣賞（最優秀賞）

### 水が つなぐ 自然と 家族

富山県 高岡市立五位中学校 三年 前田 野乃葉

「うわあ、こんな景色見たことないよ。」

思わず口からこぼれた言葉。私がまだ五歳の時のことだった。八時迄には寝ていた私が、少し遅くまで起きていられるようになった夏の夜、祖父が家から車で三分ほどの川べりに連れていってくれた。そこで目にしたのは、漆黒の空に飛び交う彗星のような光と、繰り返す光の点滅がまるで季節外れの天然のクリスマスツリーのように見える山の木々だった。その日見た自然の幻想的で美しい光景を超える光景に、私はまだ出会っていない。そして、その夜聞いた祖父の言葉も忘れ難いものとして、私の心に鮮明に残っている。

「螢は水のきれいな所にしか住めん。螢のおるこの景色、野乃葉に見せて良かった。絶対に見せてやりたかったんやあ。」

私の住む石堤地区は、東は小矢部川、西は西山丘陵に囲まれて、螢の大群以外にも様々な鳥や生き物をみかけることができる自然豊かな地域であり、この地区で獲れるお米は『川西の米』と呼ばれ、小矢部川の豊かな水流と粘土質の土壌のおかげで粘り気が強くて甘味があり、冷めても美味しいと評判だ。私の祖父も兼業農家なので、田植えは家族親戚一同総出の一大行事である。田植えが終わると夕方田んぼの水量を見回る必要があり、祖父は必ず私を誘った。私はその仕事を『水パトロール隊』と名付け、隊員として一生懸命任務履行した。任務中、祖父は昔の小矢部川は汚濁していて、かんがいや排水の欠陥も多かった為に水稲の腐敗や枯死などの被害があったこと、干ばつが起こると田面の亀裂、茎葉の萎縮が起き、収穫が下がり農家の経営が不安定で大変だったこと、用水を守り田園を保つことが、水辺の環境整備につながり、様々な生き物や植物の生育を育み、しいては自然豊かな景観の保全へとつながることを、分かりやすく話して聞かせてくれた。私は用水路が整備され、安定した水の恵みで美味しいお米がた

くさんとれることのありがたみを感じると共に、自然保護の重要な役割の一端を担う農業に携わっている祖父を誇らしく思った。水量確認だけでなく、道中のゴミ拾いも任務の一つだった。私は自分にもできる事があることが嬉しくて仕事に励んだ。

小四の夏休みには、五位庄地区開催の「フィルムで残す農業用水と暮らし」の活動に参加した。社会科の授業で用水の歴史を学び、自分もこの景色を後世に残す手伝いがしたいと思ったからだ。

地域のこのような活動以外にも、富山県には「クリーンウォーター計画」なるものがあり、そのおかげで汚濁していた小矢部川も今では美しい川となっている。富山県は名水百選のうち、全国最多の八ヶ所が選定されているが、それは与えられた環境によるものだけでなく、「清らかな水をより清らかにしようとする努力」、「豊かな自然環境は県民の財産」との考えを広める活発な活動」、「水の大切さを伝える家族のつながり」がもたらした結果だと思う。

我が家では、食器は洗剤不要なアクリルたわしで洗う、シャワーは節水など、些細なことだが、当たり前のように家族全員が行っている。水は自然がもたらす恵みで、あらゆる生命の源になるもの。その循環型資源の水を人間は汚さないように、ありがたみをもって使うこと、水の大切さを意識した行動をとらなければいけないことを、私は、家族を通して学んだ。水を守ることは、次の世代のことを思いやること、そしてその『思い』をつなげていくことに他ならないと私は思う。

あの夏の夜、祖父が私にプレゼントしてくれた景色を、今度私が自分の子供や孫にプレゼントするその日まで、私はこれからも日々『水』のもたらす恵みに感謝しながら、この豊かな自然に囲まれた素晴らしい水環境を守る努力をしていきたい。

## 第38回全日本中学生水の作文コンクール入賞者一覧

賞名	都道府県名	作文の題名	ふりがな氏名	学年	学校名
最優秀賞 内閣総理大臣賞	富山県	水がつなぐ自然と家族	まえだ のの は 前田 野乃葉	3	高岡市立五位中学校
優秀賞 厚生労働大臣賞	栃木県	命を守る貴重な水	あんどう ももあ 安藤 萌々愛	2	宇都宮短期大学付属中学校
優秀賞 農林水産大臣賞	宮崎県	「水は命。」	よしなが まりか 吉永 茉莉香	2	宮崎市立生目台中学校
優秀賞 経済産業大臣賞	神奈川県	大切な水のためにできること	まき ひなた 関 日陽	1	聖園女学院中学校
優秀賞 国土交通大臣賞	群馬県	かわのかお	おがわ ともえ 小川 知映	3	群馬大学教育学部附属中学校
優秀賞 環境大臣賞	京都府	水は誰のもの?～水のリレー～	かわい のの 紀乃	2	京都市立西京高等学校附属中学校
優秀賞 全日本中学校長会会長賞	北海道	祖父が教えてくれたこと	いけがめ れん 池亀 廉	2	長沼町立長沼中学校
優秀賞 水の週間実行委員会会長賞	沖縄県	「生きる」につながる「水」	やまかわ りお 山川 梨緒	3	多良間村立多良間中学校
優秀賞 独立行政法人水資源機構理事長賞	大阪府	水の大切さ	いしたに ゆうと 石谷 優翔	2	四條畷学園中学校
優秀賞 全日本中学生水の作文コンクール 中央審査会特別賞	埼玉県	限りある資源、水	やまぐち なつみ 山口 夏果	2	川越市立初雁中学校
入選（26編）	北海道	未来への贈り物	くらた ともみ 倉田 友美	3	長沼町立長沼中学校
	青森県	かけがえない水	いのうえ りほと 井上 凛士	1	むつ市立むつ中学校
	岩手県	水との関わり	まがわら そう 菅原 颯	1	花巻市立東和中学校
	宮城県	「水」への感謝	つち た ともみ 土田 琴未	3	石巻市立河南西中学校
	福島県	魔法の液体 ～一枚の写真を通して～	すずき りさ 鈴木 梨沙	3	泉崎村立泉崎中学校
	福島県	水に学ぶ	まきね ゆうじ 関根 佑治	3	白河市立白河南中学校
	茨城県	源流から水を想う	もろ 碧と 茂呂 碧斗	3	茨城県立古河中等教育学校
	茨城県	水資源を守る	あわの はるき 粟野 遥貴	2	筑西市立下館中学校
	栃木県	未来の水を守るために	いらい あゆか 糸井 あゆか	2	茂木町立中川中学校
	群馬県	水の未来と過去の知恵	たかい ともひろ 高井 智大	2	群馬大学教育学部附属中学校
	神奈川県	大切な水を守るために	やまもと ゆうすけ 山本 雄介	3	サレジオ学院中学校
	長野県	「水」の今と昔	やなぎさわ うみ 柳澤 侑美	3	伊那市立伊那中学校
	静岡県	心の鏡	たなか あかり 田中 朱理	3	静岡県西遠女子学園中学校
	三重県	「川のある町」	みずの あみ 水野 亜美	1	高田中学校
	京都府	私の町の水	なかわら りほ 中村 姫菜	3	舞鶴市立城南中学校
	岡山県	水と生きる	いしだ ちほ 稲田 知陽	1	岡山市立吉備中学校
	山口県	「ウォーターライフ」宣言	たなか みれい 田中 美伶	1	高川学園中学校
	徳島県	命の水	まつもと はるか 松本 遥花	2	阿南市立那賀川中学校
	香川県	水は命～大湧水から学ぶ～	たけむら みゆ 竹村 舞祐	2	坂出市立東部中学校
	愛媛県	命の資源「水」	しばつじ はやと 芝辻 隼人	3	松山市立椿中学校
	愛媛県	水のある風景を守るために	まつもと あやか 松本 彩花	2	新居浜市立西中学校
	大分県	水の大切さに気づいた今	さとう ちほ 佐藤 千春	3	豊後大野市立緒方中学校
	宮崎県	そこにある可能性	きさむら そら 崎村 宙央	3	宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校
	宮崎県	水の神様への思いを受け継いで	くろぎ あま 黒木 陽斗	3	高千穂町立高千穂中学校
	鹿児島県	水と平和を考える	ふくやま みお 福山 美桜	3	鹿児島市立坂元中学校
	沖縄県	未来へ水を届けるために	おくひら めい 奥平 芽衣	3	宮古島市立北中学校

## 一日事務所長体験

全日本中学生水の作文コンクールの優秀賞以上の受賞者を在住地近隣の関係機関の事務所等に招待し、一日事務所長体験として職場体験を実施しております。本年度は、優秀賞以上の受賞者 10名のうち、希望者7名が以下のとおり一日事務所長を体験しました（実施日順、予定を含む）。

- 受賞者名 宇都宮短期大学附属中学校  
安藤萌々愛さん  
優秀賞（厚生労働大臣賞）  
実施日 平成 28 年 8 月 17 日（水）  
実施事務所 国土交通省関東地方整備局  
鬼怒川ダム統合管理事務所



- 受賞者名 京都市立西京高等学校附属中学校  
河井紀乃さん  
優秀賞（環境大臣賞）  
実施日 平成 28 年 8 月 17 日（水）  
実施事務所 国土交通省近畿地方整備局  
淀川ダム統合管理事務所



- 受賞者名 宮崎市立生目台中学校  
吉永茉莉香さん  
優秀賞（農林水産大臣賞）  
実施日 平成 28 年 8 月 23 日（水）  
実施事務所 国土交通省九州地方整備局  
宮崎河川国道事務所



- 受賞者名 四條畷学園中学校  
石谷優翔さん  
優秀賞（水資源機構理事長賞）  
実施日 平成 28 年 8 月 23 日（火）  
実施事務所 独立行政法人水資源機構  
日吉ダム管理所



○受賞者名 聖園女学院中学校  
関日陽さん  
優秀賞（経済産業大臣賞）  
実施日 平成 28 年 8 月 31 日（水）  
実施事務所 国土交通省関東地方整備局  
京浜河川事務所



○受賞者名 長沼町立長沼中学校  
池亀廉さん  
優秀賞（全日本中学校長会会長賞）  
実施日 平成 28 年 9 月 12 日（月）  
実施事務所 国土交通省北海道開発局  
夕張川ダム総合管理事務所



○受賞者名 川越市立初雁中学校  
山口夏果さん  
優秀賞（中央審査会特別賞）  
実施日 平成 28 年 11 月（予定）  
実施事務所 国土交通省関東地方整備局  
荒川上流河川事務所（予定）



## 第31回水とのふれあいフォトコンテスト

主催等 主催 水の週間実行委員会  
後援 国土交通省、東京都、独立行政法人水資源機構  
協賛 富士フイルムイメージングシステムズ（株）

募集作品 健全な水循環の重要性や水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発の重要性について広く理解と関心を深めることに資する作品

例) ・生命を支え、育む水 ・くらしの中の水  
・ダムや水路、水道など水をつくり、供給するもの  
・歴史とともにある水の風景 など

○カラープリント部門

募集期間 平成28年4月28日（木）～6月17日（金）

応募状況 総計 2,621点

審査員（敬称略）

中谷 吉隆（写真家） 山本 景一（国土交通省大臣官房審議官）  
内田 勲（写真家） 邊見 隆士（東京都都市整備局長）  
筑紫 ゆうな（切り絵作家） 牧 慎太郎（水の週間実行委員会運営委員長）

○SNS部門（平成28年度新設）

募集期間 平成28年5月10日（火）～7月20日（水）

応募状況 総計 890点

審査員（敬称略）

詩 歩（Shiho）（「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」プロデューサー）  
ひきたよしあき（株式会社博報堂クリエイティブプロデューサー）  
山本 景一（国土交通省大臣官房審議官）



**河川  
基金** 公益財団法人河川財団による  
河川基金の助成を受けています。

## 【カラープリント部門受賞作品】

〔グランプリ〕 1名

○ 国土交通大臣賞

よしだ てるお (京都府)  
吉田 晃夫 (京都府)

画題：「夫婦船」



〔優秀賞〕 3名

○ 東京都知事賞

ますだ かずや (東京都)  
増田 和也 (東京都)

画題：「川を彩る」



○ 水の週間実行委員会会長賞

みやざき まさき (埼玉県)  
宮崎 正樹 (埼玉県)

画題：「雫の物語」



○ 独立行政法人水資源機構理事長賞

きのの せいじゅ  
佐野 清珠 (群馬県)

画題：「霧と桜と草木ダム」



〔特別賞〕 1名

○ 審査員特別賞

いしかわ かんじ  
石川 寛次 (東京都)

画題：「髪洗い」



〔特 選〕 5名

「盛夏の水メンテ」	福田 尚人	(滋賀県)
「実験」	黒瀬 博泰	(熊本県)
「鯉の滝登り」	山台 雄三	(愛媛県)
「気持ちいい！」	斉藤 延子	(香川県)
「真夏のスイカサマー」	堀江 彩花	(埼玉県)

〔入 選〕 10名

「天然水の恩恵」	関根 元治	「晩秋の築」	小高 紘佑
「お手前」	高木志津夫	「瀑布に一服」	柏舘 健
「銀座闊歩」	黒田 良男	「春うらら」	野原 健二
「秋彩」	石川 賢一	「里山の川遊び」	金岡 明光
「Life」	梅崎 篤史	「楽しいシャボン玉」	田中 和夫

【SNS 部門受賞作品】

〔グランプリ〕 1名

京都ジェンヌの会



〔特別賞〕 2名

you\_c. water



fukupic



## 上下流交流活動

水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発、健全な水循環の重要性について、国民の間に広く理解と関心を深めるため、公募手続きを行った上、以下に掲げるダム水源地域等の上下流住民の交流を促進する活動計28件への助成等を実施しました。

No.	実施団体	名称・内容	日時・場所
1	北海土地改良区	<b>第11回北海幹線水路ウォーキング2016</b> 北海幹線水路が疎水百選に選定されたことを契機に始めたウォーキングイベント。農業用水利施設の機能、農業農村地域の多面的機能を一般の人たちに幅広く知ってもらう目的で実施。	H28. 7. 31(日) 北海道美唄市 (北海幹線水路周辺)
2	岩木川環境公共ネットワーク協議会	<b>みずべの学習ひろば交流会・第4回水資源環境フォーラム</b> 水資源の重要性などについて、岩木川流域の藤崎町とつがる市の市民中心に津軽一円からの参加者を得て交流事業を実施。	H28. 8. 10(水) 青森県南津軽郡藤崎町
3	夏井川流域の会	<b>夏井川流域住民主体の交流促進事業</b> 夏井川流域各地で住民が分担して水質調査を行う他、上下流小学校児童が、情報の交換や水源地視察等を通じた上下流交流を実施。	H28. 6. 12(日)ほか 福島県田村市ほか
4	合唱組曲「利根川源流讃歌」発表・実行委員会	<b>合唱組曲「利根川源流讃歌」第15回歌う会</b> 群馬県及び関東近県の利根川流域上下流の人々の交流を目的として、「利根川源流讃歌(利根川源流域で生きる人々や自然を称える12曲で構成)」を歌う会を実施。	H28. 6. 25(土) 群馬県利根郡みなかみ町 (みなかみ町カルチャーセンター)
5	利根川源流まつり実行委員会	<b>利根川源流まつり</b> 利根川上流域の住民と中下流域の住民が交流する場を創出し、利根川源流域の自然を五感で感じ触れていただき水源地域の保全と水辺環境を考えていただく契機として実施。	H28. 6. 25(土) 群馬県利根郡みなかみ町 (奈良俣ダム周辺)
6	NPO法人 水のフォーラム	<b>水がつなぐ 上下流友だち大作戦②</b> 荒川下流域の埼玉県さいたま市在住者の参加を募り、ダムの見学や水源林の保全作業、並びに荒川上流域のNPOと参加者の交流を実施。	H28. 8. 27(土)～28(日) 埼玉県秩父市ほか (滝沢ダム、二瀬ダムほか)
7	小鹿野町・川越市命の水を訪ねる上下流交流事業実行委員会	<b>小鹿野町・川越市いのちの水を訪ねる上下流交流事業</b> 小鹿野町及び川越市在住の小学生及びその保護者による、県営合角ダムの見学、河川清掃、効き水体験、魚のつかみ取りその他を実施。	H28. 8. 20(土) 埼玉県秩父郡小鹿野町 (合角ダムほか)
8	神流川ビジョン推進協議会	<b>神流湖ゴミゼロ活動</b> 群馬県と埼玉県の企業やNPO法人等の他、水源地域のカヌー愛好家や地元の漁協・住民等が参加し、神流湖(下久保ダム湖)周辺の美化活動と上下流交流を実施。	H28. 5. 29(日) 埼玉県児玉郡神川町 (下久保ダム)
9	墨田区太鼓連盟	<b>「草木湖まつり」における上下流交流</b> 草木ダムの竣工を契機とした、水源地域と東京都の交流の一環として、草木ダム受益地域(東京都)の和太鼓演奏団体による、「草木湖まつり」における吾妻太鼓の演奏。	H28. 8. 15(月) 群馬県みどり市 (東町運動公園)

No.	実施団体	名称・内容	日時・場所
10	一般社団法人東京ボート協会	<b>第1回東日本夏季競漕大会</b> 東日本を中心としたボート愛好者、所属団体の参加による、戸田漕艇場における競漕大会。会場では、荒川上流のダムや武蔵水路に関するパンフレット配布等事業の紹介を実施。	H28. 7. 10(日) 埼玉県戸田市 (戸田オリンピックボートコース)
11	NPO法人 荒川クリーンエイドフォーラム	<b>荒川源流・秩父森林保全ボランティア</b> 荒川下流域を中心に参加者を募り、秩父市の間伐残材の搬出(秩父市及び同市のボランティアの協力を得て)、原生の森トレッキング、その他秩父市民との交流・意見交換会等を実施。	H28. 9. 5(土) 埼玉県秩父市 (荒川源流域)
12	九頭竜川下流域農業用水再編推進協議会	<b>おさんぽマルシェ</b> パイプラインの上部空間を利用した「せせらぎ水路公園」を利用し、農業水利施設や地域の農業を知ってもらい地域の活性化を図ることを目的として青空広場を実施。	H28. 10. 2(日) 福井県吉田郡永平寺町 (せせらぎ水路公園)
13	NPO法人 木曽川・水の始発駅	<b>第21回サマーキャンプ in KISOGAWA</b> 木曽川流域上～下流(名古屋市、清洲市、北名古屋市、日進市、木祖村等)在住の小学生の参加を得て、木曽川水源地域(木祖村)で、水のめぐみや水を育む森林の大切さを学ぶサマーキャンプを実施。	H28. 8. 16(火)～18(木) 長野県木曽郡木祖村ほか (味噌川ダム周辺)
14	名古屋市上下水道局	<b>アメンボクラブ水源地保全活動</b> 名古屋市在住の上下水道局サポーターによる水源地保全活動。参加者が水源地に関する知識を習得し地域社会などにおいて広報広聴活動の一翼を担っていただく事を目的に実施。	H28. 5. 24(火) 岐阜県下呂市 (岩屋ダム周辺)
15	生命の水と森の活動センター協議会	<b>徳山湖上流探訪</b> 森林保護・育成の意識向上を図ることを目的として岐阜県西濃地区を中心とした中部圏の小学生とその保護者並びに揖斐川町及び近隣市町村在住者を得て、徳山湖及び上流域の森の探訪を実施。	H28. 7. 24(日) 岐阜県揖斐郡揖斐川町 (徳山ダム周辺)
16	愛知用水土地改良区	<b>愛知用水水源地交流事業</b> 愛知県小牧市在住の愛知用水土地改良区関係者を対象として、水源地域(王滝村)での育樹作業並びに水源地域の現状及び今後の発展等に係る意見交換を実施。	H28. 7. 27(水)～28(木) 長野県木曽郡王滝村 (牧尾ダム周辺)
17	豊川総合用水土地改良区	<b>平成28年度豊川用水上下流交流事業</b> 豊川用水の水源地である愛知県設楽町在住の小学生とその保護者を対象に、上流で貯えられた水が、下流域でどの様に有効利用されているか学ぶ豊川用水施設見学を実施。	H28. 8. 3(水) 愛知県豊橋市及び田原市 (豊川用水施設周辺)
18	余呉・姫里子ども交流会実行委員会及び姫里地域青少年育成会	<b>余呉・姫里子ども交流交歓会</b> 滋賀県長浜市余呉町及び大阪市西淀川区姫里地域の小学生の参加を得て、レクリエーション活動を通じた交流を行う外、防災訓練や水資源機構職員による水に関するお話を通じた学習等を実施。	H28. 8. 10(水)～11(木) 大阪府大阪市
19	天若湖アートプロジェクト実行委員会	<b>天若湖アートプロジェクト「あかりがつなぐ記憶」</b> 日吉ダム建設時水没移転した天若集落各戸の位置にLED照明を浮かべ、かつての夜景を再現するイベントやアート展示を実施。下流域(大阪・京都)や地元から多数の見学者。	H28. 7. 2(土)～4(月) 京都府南丹市 (日吉ダム周辺)

No.	実施団体	名称・内容	日時・場所
20	森林ボランティア フォレスト ーうじ	<b>天ヶ瀬森林公園の森林づくりと天ヶ瀬ダム湖岸の森づくり</b> 宇治市及び周辺の地域住民による天ヶ瀬森林公園の災害後の森づくりと同公園に自生する樹木の種子を採集して苗木に育て、天ヶ瀬ダム湖岸への植樹を実施。	H28. 6. 19(日) ほか 京都府宇治市 (天ヶ瀬森林公園ほか)
21	布目川を美しく する会	<b>水生昆虫観察会</b> 布目川流域及び近隣の小学生及び保護者の参加を得て、布目ダムにおいて水生昆虫の観察会を実施。水源地域在住者を講師に迎え、水生昆虫採取とともにその生態や河川環境について学習。	H28. 7. 24 (日) 奈良県山辺郡山添村 (布目ダム周辺)
22	近畿大学農学部 環境管理学科里 山生態学研究室	<b>布目ダム施設見学会 近畿大学環境学習会</b> 布目川流域及び奈良市内の小中学生の参加を得て、布目ダム上下流河川に生息している生物についての学習会や生物マップ等の展示も実施。	H28. 7. 24 (日) 奈良県山辺郡山添村 (布目ダム周辺)
23	NPO法人 地域と 自然	<b>名張川の自然観察と野草塾</b> 大阪府と地元名張市の市民が参加し、関西圏の水源地名張の河川をステージに、水と自然の恵みを実感する観察会と観察結果の情報発信を実施。	H28. 7. 23(土) 三重県名張市 (名張川流域)
24	四国中央市湖水 まつり実行委員 会	<b>湖水まつり</b> 水や水源地域に対する感謝の気持ちの醸成と併せて地域の活性化の一助となるよう、上下流域の住民が参加し、ダム建設による移転者を招待して、湖水まつりを実施。	H28. 8. 6(土) 愛媛県四国中央市 (柳瀬ダム周辺)
25	NPO法人 新町川 を守る会	<b>さめうら水源の森整備交流会</b> 徳島県・香川県及び高知県嶺北地域住民の参加を得て、早明浦ダム周辺にて、治山保水機能の向上のため、単一林地を針葉樹・広葉樹の混合林地化する活動(広葉樹の植樹、下草の伐採)を実施。	H28. 6. 24(金)～25(土) 高知県土佐郡大川村 (早明浦ダム周辺)
26	NPO法人 さめう らプロジェクト	<b>Fainal Action in Sameura Lake</b> 地元高校生と四国4県から集まった若い世代が、水源地の重要性を再認識や郷土愛の育成を目的に、ウォータースポーツ体験や早明浦ダムの学習等を通じた交流を実施。	H28. 8. 14(日) 高知県土佐町・大川村 (早明浦ダム周辺)
27	一般社団法人か みかつ里山倶楽 部	<b>さめうら森の健康診断</b> 早明浦ダム下流の香川県、徳島県の市民が参加し、地元森林組合関係者をガイド役として水源林の調査を通じて健全な水循環の重要性等について理解を深めるとともに上下流住民の交流を実施。	H28. 10. 16(日) 高知県土佐町・大川村 (早明浦ダム周辺)
28	次世代のために がんばる会	<b>夏休み川の安全教室体験及び氷川ダムデイキャンプ</b> 熊本地震被災地と八代市の子ども達とによる、川の安全教室等を通じた交流とダムでの水質検査学習等を通じた水環境意識を高める取組を実施。	H28. 8. 20(土)～21(日) 及び9. 18(日) 熊本県八代市 (球磨川河川敷スポ ーツ公園、氷川ダムほか)

【実施状況例】



みずべの学習ひろば交流会・  
第4回水資源環境フォーラム  
(岩木川環境公共ネットワーク協議会)



利根川源流まつり  
(利根川源流まつり実行委員会)



小鹿野町・川越市いのちの水を訪ねる  
上下流交流事業  
(小鹿野町・川越市いのちの水を訪ねる  
上下流交流事業実行委員会)



徳山湖上流探訪  
(生命の水と森の活動センター協議会)



水生昆虫観察会  
(布目川を美しくする会)



Fainal Action in Sameura Lake  
(NPO 法人さめうらプロジェクト)



## 国や地方公共団体等での実施状況

内閣官房をはじめとする国の各機関や地方公共団体等においても、水に関する理解を深めるための活動が広範に実施されました。

### ① 「水の日」ポスターの掲出

国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めるために、ミス日本「水の天使」の須藤櫻子さんを起用したポスターを約 20,000 枚作成し、関係府省庁、都道府県、市町村、中学校、東京メトロ等に配布、掲出しました。(P35 参照)

### ② 国土交通省内でのパネル展示

平成 28 年度水資源功績者表彰受賞者の功績概要、第 38 回全日本中学生水の作文コンクール優秀作品、第 31 回水とのふれあいフォトコンテスト入賞作品を中央合同庁舎 3 号館 1 階正面玄関横の展示スペースに展示し、国土交通省職員や来省者に水の大切さを PR しました (P32 参照)。

### ③ 地方公共団体等における取り組み

東京においては、水の週間中央行事である「水を考えるつどい」、「水のワークショップ・展示会」のほか、昨年度に引き続き、「子ども霞が関見学デー」にて、「水について考えてみよう！」をテーマに、展示を実施しました。(P32 参照)。

地方公共団体等においても、講演会やシンポジウム、施設見学会、上下流交流会、パネル展示、全日本中学生水の作文コンクールの地方表彰などの活動が実施され、新聞等により報道されました。(P34 参照)

## 国・地方公共団体等における取り組み例

### 子ども霞ヶ関見学デー ～水について考えてみよう！～

日時 平成28年7月27日（水）～28日（木）

場所 合同庁舎3号館10階共用大会議室（東京都千代田区霞ヶ関2-1-3）

主催 国土交通省水資源部水資源政策課（巧水（たくみ）スタイル推進チーム協力）

内容 水を大切に使う方法を分かりやすく体験できる「巧水（たくみ）スタイルヒント！ボード」を展示したほか、水の重要性、貴重さなどの理解を深めるパネルの展示を行いました。



巧水スタイルヒント！ボードで遊びながら  
節水について学ぶ子どもたち



パネル展示の様子

※巧水（たくみ）スタイル推進チーム

節水意識の向上、節水型ライフスタイルの定着、節水機器・技術の普及等を目指し、産業界が中心となって、業界団体、学識者、地方自治体等が参画する活動チーム（2011年5月に発足。）

### 国土交通省内での展示

日時 平成28年8月15日（月）～9月1日（木）

場所 合同庁舎3号館1階正面玄関展示スペース（東京都千代田区霞が関2-1-3）

内容 平成28年度水資源功績者表彰受賞者の功績概要、第38回全日本中学生水の作文コンクール優秀作品、第31回水とのふれあいフォトコンテスト入賞作品を展示し、国土交通省職員及び来省者に水の大切さをPRしました。



水とのふれあいフォトコンテスト  
優秀作品の展示



水の作文コンクール優秀作品の展示

## 【環境省】Water Project「プロジェクトソングコンテスト」授賞式&水の日トークセッション

日時 平成28年8月1日（月）

場所 ヤマハ銀座スタジオ（東京都中央区銀座7-9-14）

主催 環境省

協力 公益社団法人 日本作曲家協会、株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス、専門学校 ミューズ音楽院、代官山音楽院、島村楽器株式会社、東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校

内容 8月1日（水の日）に、水への意識を高め、関心を持ってもらうため、官民連携 Water Project のプロジェクトソングコンテストの授賞式を行い、グランプリをはじめ各協力会社賞計8曲の受賞者を表彰し、グランプリに輝いた「My feeling for water」を初披露しました。

受賞者からは、楽曲をきっかけに、水についてすごく調べる機会となり、水に対して改めて考えていくきっかけとなったと授賞の喜びと水への関心をお話し頂きました。

水をテーマとしたトークセッションでは、受賞者より水の日からはじめる「水の宣言」として、「水のことをもっと『知る』ことで、水を大切にすることにつなげていきたい」と宣言があり、会場から大きな拍手が送られました。



## 【群馬県】ぐんまウォーターフェア

日時 平成28年7月29日（金）～31日（日） 9:30～17:00（29日は10:00～）

場所 ぐんまこどもの国児童館

主催 群馬県

共催 (財)群馬県児童健全育成事業団

人数 約2,200人

内容 「水の日」「水の週間」の関連行事として、私たちの毎日の生活や産業等を支えている水の貴重さ、水力発電所やダム等の水資源施設の重要性について、県民に理解を深めていただくため「ぐんまウォーターフェア」を開催しました。

イベントでは、小学生等がさまざまな実験や観察を体験し、水の大切さや水資源施設の重要性について理解を深められる内容とし、濁った水をきれいにする実験、森の生き物の観察、ダム模型による実験、水力発電模型による実験、ウォーターマジック等に挑戦してもらいました。



イベントの様子



イベントの様子

## 広報の取り組み

水資源の有限性や水の貴重さについての理解と関心を深めるために積極的な広報を行いました。

### ○「水の日」ポスターの掲出

期間 平成28年7月1日（金）～ 平成28年8月7日（日）

場所 関係府省庁、都道府県、市町村、中学校、東京メトロ（14駅）等で掲出

内容 国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めるために、「水の日」ポスターを作成、掲出し、「水の日」について周知しました。



水の日ポスター



東京メトロ 霞ヶ関駅



東京メトロ 赤坂見附駅

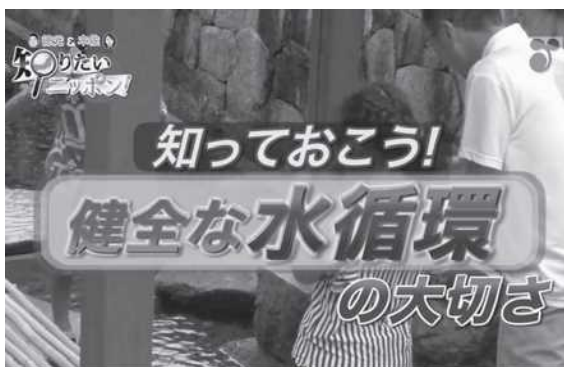
## ○政府インターネットテレビ

番組名 「徳光・木佐の知りたいニッポン！～知っておこう！健全な水循環の大切さ」

日時 平成28年8月1日～

内容 政府の動きや政府の重要政策を紹介する「政府インターネットテレビ」において、「水不足」に直面した「矢木沢ダム」と、日本が誇る“名水の町”である「福井県大野市」にスポットを当て、「健全な水循環」について紹介されました。

(URL : <http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg13975.html>)



オープニング



矢木沢ダム 湯水時

## ○国土交通省 広報誌「国土交通」No. 139

発行 平成28年7月

内容 国土交通省の施策や事業、活動などの情報を広く国民に発信し、国土交通行政に対する理解を深めていただくために作成している国土交通省 広報誌「国土交通」の裏表紙に「水の日」のポスターを掲載し、広く「水の日」について啓発を行いました。



国土交通省広報誌「国土交通」

## ○メディアキャラバンの実施

ミス日本「水の天使」の須藤櫻子さんと「水の日（8月1日）」関連行事のPRを行うためメディアキャラバンを行い、主要な新聞をはじめ、スポーツ新聞、専門業界紙、ウェブサイト（ニュースサイト）等多くの媒体に取り上げられました。

### 掲載媒体一覧

#### 【新聞】

7月22日 朝日新聞、読売新聞、スポーツニッポン、東京スポーツ

7月30日 夕刊フジ

#### 【WEB】

7月22日 朝日新聞デジタル、スポニチアネックス、MY:JCOM、東スポWEB、Yahoo!ニュース、exciteニュース、livedoorニュース



取材風景

第40回「水の週間」（平成28年度）都道府県行事一覧

項目 都道府県名	ポスター	パンフレット	講演会・音楽会・研修会 映画会・シンポジウム等	上下流交流 施設見学会等	街頭キャンペーン アンケート	展示会等	水の作文コンクール	広報・PR活動等					
								テレビ	ラジオ	新聞	広報紙	ホームページ	懸垂幕・横断幕 電光掲示板・立看板
全国	47	5	9	22	9	20	47	5	10	13	16	38	13
北海道	○	◎		☆		☆	◎				☆	○	
青森県	○						◎					○	○
岩手県	○						◎					○	
宮城県	○		○			◎	○					○	
秋田県	○						○						
山形県	○						○				☆	○	
福島県	○		○				◎			◎		◎	
茨城県	○			○		○	◎					○	
栃木県	○	◎		☆	○		◎	○	○			○	○
群馬県	○		○			○	◎			○	○	○	○
埼玉県	○		☆	◎	◎		◎	☆	○		◎	◎	◎
千葉県	○					○	◎	○			○	○	○
東京都	○		○			○	○				○		
神奈川県	○			☆		☆	◎		◎	◎	○	◎	
新潟県	○						◎			○		○	
富山県	○			○			◎			◎			
石川県	○						◎						
福井県	○			◎		○	○			○	☆	☆	
山梨県	○	◎		○	○	○	○	○					
長野県	○	◎				○	○						○
岐阜県	○					◎	◎					○	
静岡県	○			◎		☆	◎					○	
愛知県	○			◎		◎	◎				◎	◎	
三重県	○			○			○					○	
滋賀県	○						◎			○		○	
京都府	○			☆		○	○		☆			◎	
大阪府	○		☆	☆	☆	☆	◎				☆	◎	☆
兵庫県	○				◎		◎				☆	☆	
奈良県	○			◎		◎	◎					○	
和歌山県	○						◎	○	○	○		○	
鳥取県	○		○	☆			○						
島根県	○						○			☆	◎	◎	
岡山県	○						○					○	
広島県	○						◎					○	
山口県	○						◎					○	
徳島県	○			◎	○		◎		○			○	○
香川県	○			◎		○	◎		○		○	○	
愛媛県	○			☆		◎	◎				◎	◎	◎
高知県	○			☆	◎		◎						
福岡県	○			☆	◎		◎		○		○	○	○
佐賀県	○			○		○	◎			○		○	
長崎県	○						◎			☆	☆	◎	☆
熊本県	○		◎		☆		◎					◎	
大分県	○						◎						○
宮崎県	○						◎		○	○		○	○
鹿児島県	○		◎	☆			◎			☆		○	
沖縄県	○	◎				○	◎					○	

注)「ポスター」欄の○は、全国共通版(国土交通省作成)を配布したことを示し、◎は都道府県等で独自に作成したものも配布したことを示す。

「パンフレット」欄の◎は、都道府県等で独自に作成したものを配布したことを示す。

「作文コンクール」欄の◎は、都道府県レベルでの「地方表彰」を行っていることを示す。

それ以外の○は、都道府県が独自に取り組んでいることを示し、◎は都道府県に加え市町村等が独自に取り組んでいることを示す。

☆は市町村等のみが独自に取り組んでいることを示す。



## 第40回水の週間新聞等報道状況

月 日	都道府県	新聞名等	地域	見 出 し
4月6日	兵庫県	産経新聞	地方	「水の作文コンクール」作品募集
4月19日	広島県	中国新聞	地域	「水」テーマ作文 中学生から募る 国・47都道府県
6月7日	栃木県	下野新聞	地方	水の作文コン優秀賞に5編
6月11日	熊本県	熊本日日新聞	地方	中学生水の作文コンクール 県大賞5人決まる
6月20日	北海道	釧路新聞	地方	小原さん(大楽毛中3年)優秀賞 水の作文道地方コンクール「身近な資源大切に」
7月2日	秋田県	秋田魁新報	地方	美郷町で全国フォーラム「湧水の魅力発信を」保全活動に理解深める。
7月9日	全国	夕刊フジ	全国	「水を考えるつどい」
7月15日	岩手県	岩手日報	地方	中学生水の作文コンクール 遠野東、4人入賞 県主催
7月19日	香川県	RNCラジオ	地方	「節水チャレンジ」について
7月23日	鹿児島県	リビングかごしま	地方	水の学習会 ～まもり・活かそう かごしまの水～
7月26日	山形県	毎日新聞	地方	粋でエコな暑気払い／山形・七日町 繁華街で恒例の打ち水
7月27日	岩手県	岩手日日	地方	潤いのある古里を未来へ 水の作文コンクール 花巻市内3人が入賞
7月27日	神奈川県	神奈川新聞	地方	中学生水の作文最優秀に関さん
7月28日	神奈川県	神奈川新聞	地方	水道の施設開放フェスにぎわう
7月28日	滋賀県	京都新聞	地方	滋賀県中学生 水の作文コンクール
7月28日	和歌山県	テレビ和歌山	地方	水の作文コンクール表彰式
7月28日	和歌山県	和歌山放送(ラジオ)	地方	第38回「全日本中学生水の作文コンクール」表彰式
7月29日	茨城県	茨城新聞	地方	県最優秀に茂呂さん(古河中等教)
7月29日	埼玉県	埼玉新聞	地方	最優秀賞に山口さん 中学生水の作文コンクール
7月30日	群馬県	上毛新聞	地方	水やダム役割を学ぶ
7月30日	埼玉県	テレビ埼玉	地方	打ち水大作戦
7月31日	埼玉県	産経新聞	地方	コクーンシティで「打ち水大作戦」
7月29日	富山県	北日本新聞富山新聞	地方	全日本中学生水の作文コンクール、水資源功績者表彰
7月31日	徳島県	徳島新聞	地方	尾灯(とくしま打ち水大作戦2016を掲載)
8月1日	関東	NHK	地方	「ニュースシブ5時」内:愛子さまが式典出席 水を考えるつどい
8月1日	全国	テレビ朝日	全国	「スーパーJチャンネル」内:愛子さまが式典出席 水を考えるつどい
8月1日	全国	TBS	全国	「Nスタ」内:愛子さまが式典出席 水を考えるつどい
8月1日	富山県	北日本新聞	地方	きょう8月1日は「水の日」
8月1日	福井県	福井新聞	地方	今日は「水の日」水を大切に
8月1日	愛知県	中日新聞	地方	第38回「全日本中学生水の作文コンクール」
8月1日	奈良県	奈良新聞	地方	本日8月1日は「水の日」
8月1日	宮崎県	宮崎日日新聞	地方	全日本中学生水の作文コンクール吉永さん(生目台中2年生)優秀賞
8月1日～5日.10日	大阪府	j:com	地方	水の週間イベント 上下水道まなび隊告知、開催
8月2日	関東	日本テレビ	地方	「Oha! 4NEWSLIVE」内:愛子さまが式典出席 水を考えるつどい
8月2日	全国	フジテレビ	全国	「めざましテレビ」内:愛子さまが式典出席 水を考えるつどい
8月2日	全国	フジテレビ	全国	「とくダネ!」:愛子さまが式典出席 水を考えるつどい
8月2日	全国	朝日新聞	全国	愛子さまが式典に出席
8月2日	全国	読売新聞	全国	愛子さま 初の公的式典出席
8月2日	全国	日本経済新聞	全国	初の公的式典 愛子さま出席 水を考えるつどい
8月2日	和歌山県	わかやま新報	地方	優秀賞3人を表彰 水の作文コンク県審査
8月2日	群馬県	上毛新聞	地方	水不足やダムの役割理解
8月2日	群馬県	上毛新聞	地方	水の作文コンクール 小川さんに大臣賞
8月2日	富山県	富山新聞	地方	全日本中学生水の作文コンクール表彰

月 日	都道府県	新聞名等	地域	見 出 し
8月2日	島根県	山陰中央新報	地方	「水の日」に恵みPR 市長と園児ら「打ち水」
8月2日	島根県	山陰ケーブルビジョン	地方	まるまる松江「水の日打ち水大作戦2016」
8月2日	沖縄県	八重山毎日新聞	地方	田淵さん(石中2年)が入選
8月3日	埼玉県	上毛新聞	地方	下流域親子とサッカー
8月3日	埼玉県	JCOM	地方	デイリーニュース
8月3日	宮崎県	宮崎日日新聞	地方	全日本中学生水の作文コンクール優秀賞で農林水産大臣賞を受賞した吉永さん
8月3日	沖縄県	宮古毎日新聞	地方	水の作文コンクール 優秀賞に山川(多良間中)、奥平さん(北中) 下地さん(北中)は入選
8月3日	全国	建設工業新聞	全国	理解と関心深め合う 水の日記念行事
8月4日	岩手県	岩手日報	地方	北上川保全で大臣表彰 源流部の水堀小、町に報告
8月4日	神奈川県	水道産業新聞	地方	水の日の水循環をPR
8月4日	愛知県	朝日新聞	全国	堀川浄化活動に国土交通省表彰
8月4日	愛媛県	愛媛新聞	地方	水漏れ逃さないぞ 松山市イベント 親子が調査体験
8月5日	福島県	福島民報	地方	水の作文優秀賞齊藤さんら表彰 中学生県コンクール
8月5日	福島県	福島民友	地方	齊藤さんらたたえる 水の作文県コンクール
8月5日	兵庫県	神戸新聞	地方	水の作文コンクール 大村なほ子さん最優秀賞を受賞
8月5日	沖縄県	琉球新報	地方	全日本中学生水の作文コンクール 山川さん優秀賞
8月6日	富山県	富山新聞	地方	県中学生水の作文コンクール表彰
8月6日	長野県	朝日新聞	地方	浴衣姿の女性ら善光寺で打ち水
8月6日	長野県	毎日新聞	地方	浴衣で涼感楽しむ 善光寺で打ち水イベント
8月6日	長野県	中日新聞	地方	涼 届けます
8月6日	長野県	信濃毎日新聞	地方	善光寺仲見世 省エネへ100人打ち水
8月6日	長野県	長野日報	地方	波状線
8月6日	宮崎県	夕刊デイリー	地方	高千穂中3年黒木さん入選 全日本中学生水の作文コンクール
8月7日	愛知県	中日新聞	地方	堀川浄化実証 国が表彰
8月9日	静岡県	静岡新聞	地方	知事賞に太田さん、内藤さん(水の週間作文審査)
8月9日	大阪府	産経新聞	地方	打ち水イベント 参道に涼
8月9日	大阪府	ケーブルテレビJ.COM	地方	「デイリーニュース北河内」で放送
8月9日	島根県	読売新聞	地方	ペットボトルの水水道水飲み比べ
8月9日～11日	和歌山県	和歌山放送(ラジオ)	地方	水の作文コンクール優秀賞受賞作品の朗読
8月10日	神奈川県	日本下水道新聞	全国	「水の日」で合同イベント
8月10日	奈良県	朝日新聞	地方	猛暑冷やせ 打ち水大作戦
8月11日	大阪府	日本水道新聞	全国	水の日で多彩な催し
8月12日	岐阜県	岐阜新聞	地方	健全な水循環の大切さを考える
8月12日	鳥取県	日本海新聞	地方	「生活と水循環」講演通し考える 鳥取、「水の日」催し
8月14日	宮城県	朝日新聞	地方	一番町いざ打ち水じゃ
8月14日	愛媛県	産経新聞	地方	水の大切さ伝える絵はがき 小学生らの力作1157点
8月14日	沖縄県	沖縄タイムス	地方	中学生水の作文 山川さんら表彰
8月15日	大阪府	FM-HANAKO	地方	
8月21日	宮城県	河北新報	地方	利き水楽しく挑戦 ― 仙台
8月22日	宮城県	河北新報	地方	大崎を元気に 夢が開花 【平成28年度水資源功績者受賞者である「化女沼2000本桜の会」代表である佐々木哲朗氏の活動を紹介】
8月25日	宮崎県	宮崎日日新聞	地方	河川国道事務所で「一日所長」
8月26日	島根県	電気新聞	全国	松江市の「水の日」イベントに参加
8月29日	島根県	日本水道新聞	全国	ボトル水 味比べ 松江市水の日イベント 各地のおいしさPR

## 「水の週間」実施経過

メインスローガン「水ーこの限りある貴重な資源」「水は限りある貴重な資源です」

(国土庁発足 S49. 6. 26)

(国土交通省に再編 H13. 1. 6)

(水循環政策本部発足 H26. 7. 1)

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備 考
昭和 52 (1)	貴重な水・あなたと一緒に考えたい	水の用心	○水の週間展示会(国土庁会議室) (ポスター、パンフレット) ○第1回水資源に関するシンポジウム (10. 25)	・水の週間閣議了解(5. 31) ・国連水会議(3. 14 ~ 25) ・第三次全国総合開発計画閣議決定
昭和 53 (2)	水の価値をみなおそう 水源地域の人々に感謝しよう 水とのふれあいのなかで……	水も難局だナ	○ウォーターフェア'78 (銀座 松屋)	・水の週間実行委員会設立 (5. 8、11 団体) ・長期水需給計画策定 ・福岡渇水
昭和 54 (3)	水源地域の人々に感謝しよう 水の大循環の中で私たちは… 限りある水ーいまこそいかに私 たちの智恵ー	育てよう水 ー足どり確かに、 一歩一歩。ー	○ウォーターフェア'79 (船の科学館) ○第1回全日本中学生水の作文コンク ール ○水資源功績者表彰 ○ウォーターフェアふくおか(福岡市)	・水資源世論調査
昭和 55 (4)	節水型社会をめざして 上下流の連帯を育てよう	貯めましょう日本の水 ーみんなの水を、みんなの水 で。ー	○ウォーターフェア'80 東京 (科学技術館) ○上下流交流運動	・地域水需給計画推進 ・沖縄渇水
昭和 56 (5)	水源地の人たちに感謝しましよ ういのちの水・水とのであい。	今日の水・明日の水 ー水みんなの和で 育てよう。ー	○ウォーターフェア'81 東京 (科学技術館) ○第1回ウォーターフェア隅田川 レガッタ ○ウォーターフェアポートピア (兵庫県)	・水研究協力校の指定
昭和 57 (6)		丈夫な水に育てたい。	○ウォーターフェア'82 東京 (科学技術館) ○第2回水資源に関するシンポジウム (8. 3 ~ 5)	・長崎水害
昭和 58 (7)		やさしい、水、好き。	○ウォーターフェア'83 東京 (科学技術館)	・これより毎年、水資源白書作成
昭和 59 (8)		水の愛につつまれて	○ウォーターフェア'84 東京 (科学技術館)	・水資源局から水資源部へ改組 (国土庁) ・国際河川博覧会(アメリカ・ニュー オリンズ)
昭和 60 (9)	考えよう水ーくらしと水・資源とし て水ー	水・ありがとう。	○ウォーターフェア'85 東京 (科学技術館) ○ウォーターフェア KOBE (神戸市)	・冬期渇水
昭和 61 (10)	築こう 水のある豊かな暮らし	いつも水といっしょ。	○ウォーターフェア'86 東京 (科学技術館) ○ウォーターランド(新宿副都心) ○第1回水とのふれあいフォトコンテ スト ○ダム子供マラソン(宮ヶ瀬ダム)	・水資源世論調査 ・冬期渇水(西日本)
昭和 62 (11)	水のある豊かな暮らし	水は、ともだち。	○ウォーターフェア'87 東京 (科学技術館) ○第3回水資源に関するシンポジウム (浩宮殿下による特別講演) (8. 4 ~ 5)	・首都圏渇水 ・第四次全国総合開発計画閣議決定 ・全国総合水資源計画(ウォーターブ ラン2000)策定
昭和 63 (12)	水のある豊かな暮らし	ぼくの水、みんなの水。	○ウォーターフェア'88 東京 (科学技術館) ○水の日記念テレビトーク	・浩宮殿下展示会御台臨 ・竹下内閣総理大臣記念式典臨席
平成元 (13)	水のある豊かな暮らし	水、今日もありがとう。	○ウォーターフェア'89 東京 (科学技術館)	・皇太子殿下展示会行啓 ・宇野内閣総理大臣記念式典臨席
平成 2 (14)	水のある豊かな暮らし	水がささえる豊かな社会	○ウォーターフェア'90 東京 (科学技術館)	・人と水とのかかわり世論調査 ・首都圏渇水

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備 考
平成 3 (15)	水が支える豊かな暮らし	水…みんなの宝	○ウォーターフェア' 91 東京 (東京都庁)	・皇太子殿下記念式典、展示会行啓
平成 4 (16)	水が支える豊かな暮らし	考えよう、水のあした	○ウォーターフェア' 92 東京 (東京都庁) ○第 4 回水資源に関するシンポジウム (10. 24)	・環境と開発に関する国連会議
平成 5 (17)	水が支える豊かな暮らし	水がなくては生きられないから ね	○ウォーターフェア' 93 東京 (墨田区役所)	・「国連水の日」制定 (3. 22)
平成 6 (18)	水が支える豊かな暮らし	すばらしい自然の恵み 「水」を見直そう	○ウォーターフェア' 94 東京 (墨田区役所)	・村山内閣総理大臣記念式典臨席 ・全国的な渇水 ・人と水とのかかわり世論調査
平成 7 (19)		大切に使おう、かけがえない 「水」	○ウォーターフェア' 95 東京 (墨田区役所)	
平成 8 (20)		天の恵み「水」。ありがとう。 「水」を見つめて、20 年。	○ウォーターフェア' 96 東京 (科学技術館)	・皇太子ご夫妻記念式典、展示会行啓 ・橋本内閣総理大臣記念式典臨席
平成 9 (21)		夏、到来。	○ウォーターフェア' 97 東京 (科学技術館) ○第 5 回水資源に関するシンポジウム (8. 4 ~ 5)	
平成 10 (22)		みんなで考えよう、 水の大切さ…。	○ウォーターフェア' 98 東京 (科学技術館)	
平成 11 (23)		「当たり前」ではありません！	○ウォーターフェア' 99 東京 (科学技術館) ○水源地域からのメッセージ	・新しい全国総合水資源計画(ウオー タープラン 21)策定 ・小淵内閣総理大臣記念式典臨席、展 示会視察
平成 12 (24)		水の力	○ウォーターフェア 2000 東京 (江戸東京博物館)	
平成 13 (25)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア' 01 東京 (東京都庁)	・国土交通省発足 (1. 6) ・全国的な渇水
平成 14 (26)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア' 02 東京 (新宿パークタワー) ○第 6 回水資源に関するシンポジウム (8. 2 ~ 3)	・皇太子殿下記念式典、展示会行啓
平成 15 (27)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア' 03 東京 (科学技術館)	・長い梅雨、冷夏
平成 16 (28)		みんな水から始まった	○ウォーターフェア' 04 東京 (科学技術館)	・東京の真夏日の連続記録更新 ・局所的な豪雨
平成 17 (29)		みんな水から始まった	○ウォーターフェア' 05 東京 (科学技術館)	・全国的な渇水 ・局所的な豪雨
平成 18 (30)		水のある幸せ、これからも	○ウォーターフェア' 06 東京 (科学技術館)	・皇太子殿下 水の展示会行啓 ・17 年末に全国で大雪、降水量首都圏 は平年並み
平成 19 (31)		水がある、いのちがある。	○ウォーターフェア' 07 東京 (科学技術館) ○第 7 回水資源に関するシンポジウム (8. 3 ~ 4)	・春から 6 月にかけて西日本を中心に少 雨続く、梅雨入りに遅れ、一部で渇 水、夏に記録的高温
平成 20 (32)		水がはぐくむ和の暮らし	○ウォーターフェア' 08 東京 ○水を考えるつどい (科学技術館)	・中国、四国地方を中心とした渇水 ・局所的な豪雨
平成 21 (33)		将来を安全・安心に暮らすた め、水を大切に使う社会へ	○ウォーターフェア' 09 東京 ○水を考えるつどい (科学技術館)	・中国、九州北部を中心とした記録的 な豪雨
平成 22 (34)		水の安心・安全を考えよう！	○ウォーターフェア' 10 東京 ○水の週間記念シンポジウム (科学技術館)	・局所的な豪雨 ・全国で記録的な猛暑
平成 23 (35)		水の恵み～東日本大震災を機 に考える～	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○「水の週間」水を考えるつどい (科学技術館)	・皇太子殿下水を考えるつどい行啓 ・平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨 ・全国で節電の夏
平成 24 (36)		水の恵みを未来に～健全な水循 環の再生を目指して～	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○水の週間シンポジウム (科学技術館)	・平成 24 年 7 月九州北部豪雨 ・利根川水系渇水 ・全国で節電
平成 25 (37)		安全・安心な水のために	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○水の週間シンポジウム (発明会館)	・全国的な渇水 ・全国で記録的な猛暑、局所的な豪雨

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備 考
平成 26 (38)		水とめぐる水のめぐみ	○「水の日」「水の週間」記念水を考えるつどい(砂防会館) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・水循環基本法施行及び水循環政策本部設立 ・水循環基本法における「水の日」の法定化 ・平成 26 年 8 月豪雨(広島、京都など) ・御嶽山噴火
平成 27 (39)		みんなで考えよう！水のこと！	○「水の日」「水の週間」記念水を考えるつどい(国連大学) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・水循環基本計画閣議決定 ・平成 27 年 9 月東北・関東豪雨
平成 28 (40)		水とめぐる水のめぐみ	○「水の日」「水の週間」記念水を考えるつどい(科学技術館) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・皇太子同妃両殿下 水を考えるつどい行啓 ・全国的な渇水

※ 全日本中学生水の作文コンクール及び水とのふれあいフォトコンテストは、現在も継続中。

## 水の週間実行委員会について

昭和 53 年に、水に関係の深い民間団体により、「水の週間実行委員会」が設立され、「水の日」「水の週間」の趣旨に賛同し、この運動をさらに広汎な国民運動として推進することとして、政府・地方公共団体等が行う各種の啓発活動と連携して諸活動を実施している。

### 水の週間実行委員会設立趣意書

(昭和 53 年 5 月 8 日設立総会)

かつて、ケネディは「21 世紀を制するものは原子力と水だ」と断言し、水問題の重要性を訴えたが、まことに水は国の産業経済の発展のみならず人類の生存に必須なものであり、水問題の解決なくしては将来の発展は考えられないとあってよいであろう。

古来、我が国は、豊葦原瑞穂の国といわれ豊かな水に恵まれ“水の恩恵”を享受してきており、「水は天からもらい水」「湯水のように使う」などの言葉に示されるように水はいつでも好きなだけ使える無尽蔵な資源と考えられがちであった。

しかし、近年における生活水準の向上、産業経済の発展に伴い特に人口・産業の集中が著しい関東・近畿等の都市における生活用水、工業用水等の水需要が急激に増大し、渇水時における水不足や水質汚濁、地盤沈下等の問題を生じるどころとなり、ようやく「水」が限りある資源として認識されはじめたところであるが、まだ十分とはいえない。

このため、政府は、昭和 52 年に 8 月 1 日を「水の日」とし、この日から 1 週間を「水の週間」と定め水に関する国民の理解と認識を深めることとして、水に関する各種の啓発運動を実施したところであるが、誠に時宜を得た意義深いものであり、今後とも積極的な展開が望まれるところである。

とりわけ、開発適地の減少等からダム等による水資源開発が次第に困難となり近い将来における水需要のひっ迫が避けられず、今後は水利用の合理化等の施策の推進が必要となっている今日の状況に鑑みるならば、「水の週間」における啓発運動をさらに積極的に推進し、国民一人一人が水資源開発の重要性を十分認識し、水の有限性・貴重さを理解し節水等の具体的な行動に留意するような効果的な運動として盛り上げる必要がある。

このような考えのもとに、政府による「水の週間」の各種の啓発運動と一体となった諸行事を積極的に実施し、もって水資源問題解決の一助に資するものとして、「水」に深いかかわりをもつ事業団体等によっての水の週間実行委員会を設立するものである。

## 水の週間実行委員会の組織

会長 虫明功臣（日本河川協会会長）

平成28年8月1日現在

団 体 名	実 行 委 員		運 営 委 員	
全国水土里ネット	専務理事	中條康朗	所 長	長山政道
造水促進センター	理事長	山本和夫	専務理事	平井光芳
日本治山治水協会	会 長	山口俊一	専務理事	山田壽夫
日本河川協会	会 長	虫明功臣	常務理事	萩原寿夫
日本工業用水協会	会 長	吉田雅一	事務局長	青柳伸一
日本水道協会	理事長	吉田 永	調査部長	玉野井晃
全国簡易水道協議会	会 長	牧田 久	事務局長	若松五常
日本下水道協会	理事長	曾小川久貴	常務理事	田雑重信
日本ダム協会	会 長	宮本洋一	専務理事	川崎正彦
利根川・荒川水源地域対策基金	理事長	藤井友竝	事務局長	石引庄一
	常務理事	渡邊和足		
日本水フォーラム	代表理事	竹村公太郎	代表理事	竹村公太郎
土木学会	会 長	廣瀬典昭	専務理事	塚田幸広
農業農村工学会	会 長	渡邊紹裕	専務理事	小前隆美
水資源機構	理事長	甲村謙友	総務部長	四日市正俊
	理 事	◎牧慎太郎		

団 体 名	実行委員	運 営 委 員	
国土交通省（水資源部）	—	大臣官房審議官 水資源政策課長 水資源計画課長 企画専門官 専門調査官	○山本景一 荒井仁志 岡積敏雄 乾 有貴 中島敬太郎
東京都（都市整備局）	—	局 長 技 監 都市づくり政策部 水資源・建設副産物担当課長	邊見隆士 上野雄一 古澤正彦

◎運営委員長 ○運営副委員長

## 第40回「水の週間」ポスター



第40回  
**8/1は水の日**  
8/1~7は水の週間

水の貴重さ、大切さを考える取り組みを実施しています。改めて、私たちの「水」について考えてみませんか？

水とめぐる水のめぐみ

健全な水循環により、水の恵みを楽しむ社会を目指して。

主催：水循環政策本部、東京都、水の週間実行委員会 ほか  
後援：文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省 ほか

水の日の週間に関する行事等の情報は、官報ホームページ、国土交通省ホームページ、独立行政法人水資源機構ホームページをご覧ください。

水の日の週間 検索

2018年度「水の日」ポスター

### 水の週間実行委員会事務局

〒330-6008 埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2

独立行政法人水資源機構 総務部広報課内

TEL 048-600-6513 FAX 048-600-6510